

本市産業の現状

- 最新の市内総生産額は3兆3,473億円（H30）
→ H26と比較して2,695億円（+8.8%）増加
 - 市内事業所数は40,506事業所（R1）、従業者数は340,623人（H28）
→ H26と比較して3,425事業所（+9.2%）増加
2,467人（-0.7%）減少・横ばい
 - 最新の製造品出荷額は2兆1,203億円（R1）で県内第1位
→ 約42%を電気機械器具製造業（エアコン、冷蔵庫、ヘッドライト等）が占める
→ H26と比較して3,619億円（+20.6%）増加
 - ◇ 近年10年（2011-2020）の売上高は市全体で**107.2%**の伸び
・市の伸び率を超えた産業は
「運輸・通信業」121.1%（運輸のみ114.2%）
「建設業」119.0%「製造業」116.7%
「サービス業」114.5%
 - ◇ コロナ禍での状況（2019-2020の売上高の比較）
・売上高が最も伸びた業種は「小売業」145.1%
・製造業のうち、「食料品製造業」は前年並だったが、「輸送用機械」「電気機械器具」「一般機械器具」「精密機械・医療器械器具」は前年割れ
- ※◇の出典：静岡市産業構造分析委託（R3実施）

第2次プランの成果と課題

【成果】

- 全体目標として掲げている、
 - ・「市内総生産額」3兆2,140億円
 - ・「市内従業員数」343,100人
 については達成見込み
- 「本市の産業振興の3つの方向」として定めた
 - ① 戦略産業の振興
 - ② 戦略産業振興プラットフォームによる支援
 - ③ 人材の確保・育成
 に定める成果目標についても概ね達成見込み（個別の取組内容については別紙のとおり）
- 具体的な事業については、「商工・物流」「観光・交流」「農林水産」の各分野別計画の政策・施策と紐づく形となっており、網羅的に位置付けての実施がされている

【課題】

- 目指す姿の明示がなく、構成が複雑で分かりにくい
- デジタル化や働き方など新型コロナウイルス感染症による新たな価値観など、日々変化する社会情勢に対処しにくい
- 本市を支える柱の一つであるものづくり産業への対応が薄い
- 起業、創業への更なる推進の必要性

第3次産業振興プランの考え方・視点等

プラン全体の考え方（案）

- ① 本市産業の**目指すべき将来像（2030年のあるべき姿）**を見据えて**取組の方向性（ビジョン）**を示すものとする。
- ② 個別施策については、第2次産業振興プランと同様、各個別計画に委ね、シンプルな計画とするが、毎年度に予算等を踏まえた「**実行計画**」を策定する。

策定に当たっての視点（案）

- ・ 市中小企業・小規模企業振興条例の基本的施策「**人材の確保・育成**」「**生産性の向上**」「**創業・新規事業の創出**」の取組に重点を置いて推進する。
- ・ **脱炭素やデジタル化**など、大きな経済・社会の潮流を捉えた取組を推進する。
- ・ **持続可能な地域経済の構築**に向けた取組を推進する。
- ・ **コロナ禍での様々な課題・変化**に的確に対応する。
- ・ 本市の**産業特性とこれまでの取組や考え方**を活かしていく。

社会的潮流

- ① **人口減少・少子高齢化の進展**
 - ・ 労働力人口の変化
- ② **持続的な発展への社会的要請**
 - ・ SDGsへの対応
 - ・ カーボンニュートラル（脱炭素）の取組
- ③ **働き方の多様化**
 - ・ ライフスタイルの多様化
 - ・ ワークライフバランスの改善
- ④ **東京一極集中とコロナ禍による地方への人口流入**
 - ・ 都市と地方の生産性格差
 - ・ 若者人材の東京圏への流入
 - ・ 地方への人口流入と関心の高まり
- ⑤ **自然災害の増加**
 - ・ 地震、風水害等
- ⑥ **コロナ禍での変化**
 - ・ 新たな生活様式への対応（非接触、非対面等）
 - ・ デジタル化、DXの進展
 - ・ 兼業・副業への関心の高まり
 - ・ サプライチェーンの見直し
 - ・ 感染症対応を含めたBCPの必要性
- ⑦ **本市を取り巻く環境の変化**
 - ・ 中部横断自動車道の開通
 - ・ 清水港の港湾機能の強化
 - ・ 歴史博物館の開館、海洋文化施設の整備

上記課題等を踏まえての改善の方向性

【産業振興上の課題】

- ① **「目指す姿」の明示**
→ 様々な主体が同じイメージで目標を捉えることが必要であることから目指す姿を定める
- ② **ものづくり産業や起業、創業の推進を位置付け**
→ ものづくり産業や起業、創業の支援施策についての記載
- 【計画の推進に係る課題】
- ③ **PDCAによる適切な進捗管理**
→ 毎年度、予算等を踏まえた「実行計画」を策定
→ プランの全体的な方向性については「産業活性化懇話会」、中小企業支援に係る個別施策については「中小企業等応援会議」の場で随時意見聴取
- ④ **社会的潮流や変化の速さへの的確な対応**
→ コロナ禍等により、社会的な環境や価値観が大きく変化しており、それを踏まえる
→ プラン全体としては、取組の方向性を示し、個別施策については、各分野別計画に定める従来の方式を踏襲

第3次産業振興プランのイメージ（案）

今後検討する。



【海洋・エネルギー産業】

豊かな海洋資源を有する本市の立地を生かした産業の育成を目指す。
また、今後の成長が見込まれるエネルギー産業の産業化を進めていく。

活動指標	R4目標	実 績	主な取組
海洋産業クラスター創造事業 マッチング件数	延べ24件 (R4)	延べ15件 (R2)	<ul style="list-style-type: none">○ 静岡型水素タウン促進事業○ 海洋産業クラスター創造事業

主要な成果
<ul style="list-style-type: none">■ 海洋産業クラスタービジョンの策定■ 産学協同研究による事業化（三保サーモン・シラス缶詰）■ 水中ドローンローカルシェアプロジェクト・サクラエビプロジェクトの推進■ 水素エネルギー活用促進計画の策定■ 県内で唯一の県内初となる定置式水素ステーションが設置（H29.3月）■ グリーン電力地産地消事業（コンソーシアムの創設）



【清水港・ロジスティクス産業】

清水港に集積する物流産業を中心として、高速道路などの社会基盤の活用と内陸拠点の整備・連携により、高率的で強いロジスティクス産業として育てていく。

活動指標	R4目標	実 績	主な取組
ロジスティクス関連企業立地件数	延べ17件 (R4)	延べ22件 (R2)	<ul style="list-style-type: none">○ ロジスティクス産業立地促進事業○ 清水港ポートセールスの実施○ 大谷・小鹿まちづくり計画推進事業○ 東名新インターチェンジ整備事業
清水港コンテナ取扱個数	676,400TEU/年	514,239TEU/年 (2020)	

主要な成果
<ul style="list-style-type: none">■ 新興津国際物流センターが完成し、当該施設に4社が立地（令和2年度）■ ポートセールスによるコンテナ船航路の確保（現在26航路）■ 国内ポートセールスを初めてオンラインで実施（R3.9月：甲府セミナー：約300人参加）■ 日本平久能山スマートインターチェンジの供用開始・アクセス道路の整備■ 大谷・小鹿地区 工業・物流エリア（恩田原・片山地区）区画整理の着手（区域区分・用途地域・区画整理区域案の方針決定）■ 中部横断自動車道の全面開通・両河内スマートインターチェンジの整備検討開始（国土交通省の新規準備段階調査箇所を選定・準備会の開催）



【食品・ヘルスケア産業】

有力メーカーや研究機関が集積している食品産業を基盤として、医療、介護など成長著しいヘルスケア産業の育成につなげることで産業化を進めていく。

活動指標	R4目標	実 績	主な取組
健康・食品クラスター形成事業 事業化件数	延べ32件 (R4)	延べ21件 (R2)	<ul style="list-style-type: none">○ 健康食品産業クラスター形成事業（フーズサイエンスヒルズプロジェクト）○ 中小企業海外展開支援事業（フードタイパイ）○ ふるさと農カチャレンジ事業補助金
販路開拓商談成約件数	延べ46件 (R4)	延べ46件 (R2)	

主要な成果
<ul style="list-style-type: none">■ 海外食品見本市（フードタイパイ）への出展支援■ おみやプロジェクト：産業支援機関連携の伴走型の新商品開発■ 健康食メニュー開発事業（メディシェフ）：フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業



【観光・ブランド産業】

外国人観光客の急増を背景に成長著しい観光産業の流れに乗るために、文化。歴史資源を活用するとともに、お茶やホビーなど、世界的なブランド力を持つ産業の聖地化と観光的な活用を進める。

活動指標	R4目標	実 績	主な取組
観光関連施設・イベント入込客数	9,952千人/年	4,934千人/年 (R2)	<ul style="list-style-type: none">○ 中部・志太榛原地域連携DMO事業○ MICE誘致、海外プロモーションの実施○ お茶・ホビー・まぐろのまち静岡推進事業
外国人宿泊者数	94千人/年	5千人/年 (R2)	

主要な成果
<ul style="list-style-type: none">■ 梅ヶ島温泉郷の国民保養温泉地指定■ 「水わさびの伝統栽培」世界農業遺産認定■ 三保松原文化創造センター、日本平夢テラス等の整備■ 静岡都心、清水都心、草薙・東静岡副都心におけるグランドデザインの策定



【文化・クリエイティブ産業】

家康時代に駿府へ集積した職人に始まるクリエイティビティの歴史を受けて、クール・ジャパンなどのコンテンツ産業や、工業製品の高付加価値化に寄与するプロダクトデザインなどを手掛けるクリエイターの集積を図る。

活動指標	R4目標	実 績	主な取組
クリエイターとのビジネスマッチング参加企業数	延べ40社	延べ44社 (R2)	<ul style="list-style-type: none">○ C.C.C文化クリエイティブ産業振興センターの管理運営事業○ 世界にはばたくクリエイター支援事業○ 若手クリエイター海外展開支援事業
海外等の展示会参加者数	延べ24人	延べ22人 (R2)	

主要な成果
<ul style="list-style-type: none">■ C.C.C文化クリエイティブ産業振興センターの移転整備 →まち劇への貢献が新たな機能として追加（七間町ハブニングなど）■ クリエーターズハブ（データベース）や支援制度により、クリエイターのまち中への集積■ 市クリエイター2名（陶芸家、竹工芸）と現地デザイナー（イタリア）4名をマッチング

【戦略産業プラットフォーム】

・新商品開発や新分野進出に取り組もうとする事業者に対し、専門的な情報やノウハウなどを有する複数の産業

活動指標	R4目標	実績	主な取組
戦略産業振興プラットフォームによる新商品開発・新分野進出等件数	延べ24件(R4)	延べ15件(R2)	○ 産業支援機関連携会議を開催 →複数の支援機関との情報共有及び意見交換を行っている。

【主な支援事例】

・静岡エールマーケットの開催（R2）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、販路縮小を余儀なくされた事業者を中心に、新静岡セノバにて販売会を実施。

・山内屋：駿河区久能（R1）

商品開発に課題を持っていたため、市産業情報プラザ：おみやプロジェクトを紹介→その後参加
また、小規模事業持続化補助金申請の為、農業に詳しい専門家に相談したいとの希望があったため、B-nest 専門家派遣制度を紹介した。

農業政策課のふるさと農力チャレンジ補助金も併せて案内し、採択され、店舗改装を実施。

・葉桐：葵区足久保組口（H30）

静岡茶の製造過程において、仕入・販売・在庫管理を一括して把握できるシステムを検討しており、静岡商工会議所と連携のもと、生産性の向上に向けた現場改善支援に取り組んだ。その結果、納品書の機械化や発注システムの効率化等が進み、生産性は8%向上、製造から発注までの工程期間も約1ヶ月短縮に繋がった。

【人材の育成・確保】

地域社会や経済の活力の源である労働力を確保するため、地域の魅力的ある職場づくりを支援するとともに、情報発信やマッチングに取り組む。

活動指標	R4目標	実績	主な取組
新規開業者数	798件/年	630件/年(2016)	○ 女性の活躍応援プロジェクト ○ 移住就業支援補助金 ○ 事業承継促進事業 ○ 人材マッチング推進事業 ○ 若者の地元就職・U/Iターン就職の促進事業 ○ 働き方改革の実現に向けた企業支援
地域産業・大学等交流会 ①参加企業数	80社/年	74社/年(R2)	
地域産業・大学等交流会 ②参加大学数	80校/年	70校/年(R2)	
多様な人材の活躍表彰事業所数	延べ45件	延べ39件(R2)	

主要な成果

■ 静岡市グッド・パートナーズ表彰（SDGs連携アワード表彰・しずおか女子きらっ☆ブランド認定・CSRパートナー企業表彰・中小企業技術表彰・多様な人材の活躍応援事業所表彰）
■ NEXTワークしずおかの設置（求人検索・応募、研修・セミナー、個別相談）
■ 若者就活応援サイト「しずまっち」の運営（企業検索・セミナー、イベント等の掲載）
■ 東京圏からの移住者の取り込み（R3：13件）
■ ものづくりプラモデル大学の開催
■ 市内企業の経営者・管理職等に向けた「ダイバーシティ」推進に関するセミナーの開催や、働き方改革に取り組む企業の表彰・特集サイトへの事例掲載